



大仙公園の紅葉 2023

大仙公園は赤・黄・緑の紅葉のキャンパス

秋が深まるとあちこちの木々の葉は赤や黄色に色づいてきます。大仙公園では、たくさんの種類の紅葉を楽しめます。公園内を歩きながらそれぞれの葉の種類や見分け方を聞きましょう。拾った葉っぱでマイコレクションを作りましょう。

NHK 朝ドラ「らんまん」で話題の牧野富太郎博士が研究に関わった植物もご紹介します。



イチョウ (銀杏)



鎌倉時代に日本に伝わり、18世紀の中ごろに、ヨーロッパ・ドイツに伝わった。深く裂けている葉っぱに、ゲートルがラブレターを挟んで送った。

トウカエデ (唐楓)



葉色が七色に変わる樹木として知られている。江戸時代に唐(中国)から伝わったので、唐楓と名付けられた。

クヌギ (櫟)



カブトムシなどの昆虫がよく集まり、実はドングリとよばれ、材は薪や家具、シイタケ栽培の原木などに利用される。

ハゼ (樺)



堺の紅葉の名所は古墳と言われている。古墳の中の紅葉はハゼが多い。俳句の世界では、「樺紅葉」という美しい季語もある。実からロウを採った

イロハモミジ(いろは紅葉)



命名の由来は葉の裂片の数え方によるもので、それを「いろはにほへと」と数えたことから「イロハ」となったとか。

フウ (楓)



別名台湾楓(タイワンフウ)。葉は3裂し、紅葉は黄色くなるもの、赤っぽくなるものがある。暖地で街路樹にされる。

ナンキンハゼ(南京樺)



暖かい西日本でも美しく紅葉する。全体が緑~紫~赤~橙~黄の美しいグラデーションになることもある。白い果実は、ハゼ同様ロウを採ったことが由来

エノキ (榎)



街道筋に一里塚として植えられていた。遠目からも見えるため。堺にはエノキが地名になっている場所があるが、エノキがたくさん植わっていたから。

「大仙公園紅葉めぐり」が開催されます。

【日時】11月26日(日) 午前10時

【集合場所 / 解散場所】百舌鳥駅西口西へ400mビジターセンター前 / 堺市博物館前
詳しくはHPまたは右のQRコードよりご覧ください。ここからお申し込みもできます。

お申込みはこちらから



NPO 法人堺観光ボランティア協会

- *堺市内のそれぞれの観光スポットで、毎日ご案内をしています。
- *団体、個人を問わず貴方にあった観光コースをつくりご案内いたします。
- *毎月いろいろなイベントやツアーを企画しております。詳しくは当協会HPをご覧ください。

お申込み・お問い合わせは

NPO 法人堺観光ボランティア協会

TEL:072-233-0531

Mail:sakaikvk@axel.ocn.ne.jp

LINE 登録はこちらから

